

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	高齢者の健康障害と看護		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	前期	教室名	新館2階、3階
担 当 教 員	松岡清子 竹田知美 溝辺ゆかり	実務経験と その関連資格	病院で看護師として勤務 教育期間で勤務 消化器内科病棟・市立病院消化器外科病棟勤務14年。専任教員10年 病院等で23年勤務			
《科目目標》						
老年看護の対象者である健康障害をもちながら生活している高齢者の看護について考えられるよう、その基礎知識と考え方を学習することを目的とする。						
《成績評価の方法と基準》						
【評価方法】終講試験80%、課題レポート、授業態度20% 【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
ナーシング・グラフィカ 老年看護学① 高齢者の健康と障害 MCメディカ出版 (デジタル版) ナーシング・グラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践 MCメディカ出版 (デジタル版)						
《授業外における学習方法》						
各講義で取り上げる疾患についての基礎知識の復習を行い課題意識をもって参加すること 授業終了時に示す課題を復習しておくこと						
《履修に当たっての留意点》						
高齢者の状況をとらえアセスメントし看護へと結びつける思考過程を主軸とした学習ができるよう授業を構成し、病棟での看護をイメージできることを目指す。基礎看護学での学びを基に高齢者の看護援助とその方法を考える。健康障害のある高齢者の「持てる力」を重要視したQOLの視点が必要不可欠である。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	授業を通じての到達目標	・高齢者の疾患と老年症候群。 治療を受ける高齢者の特徴と看護のポイントについて説明できる		教科書①P.40~ ②P.304~	高齢者の加齢に伴う変化と特徴を復習しておく	
	各コマにおける授業予定	老年症候群、フレイル、治療を受ける高齢者の看護 薬物療法 手術療法 リハビリテーション 診察・検査 入退院 行動制限				
第2回	授業を通じての到達目標	脳卒中を発症した高齢者の看護をアセスメントし、ADL向上に向けたケアのポイントが説明できる		教科書①P.246~ ②P.179~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく	
	各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護 (脳卒中 高次脳機能障害)				
第3回	授業を通じての到達目標	パーキンソン病を持つ高齢者をアセスメントし、ADL向上に向けた援助が説明できる		教科書①P.248~ ②P.202~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく	
	各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護 (パーキンソン病)				
第4回	授業を通じての到達目標	パーキンソン病をもつ高齢者のADL向上にむけた看護が実践できる		教科書①P.248~ ②P.202~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく	
	各コマにおける授業予定	パーキンソン病をもつ高齢者の移動・移乗・排泄の看護				
第5回	授業を通じての到達目標	高齢者の肺炎の特徴とアセスメントし、その看護について説明できる		教科書①P.243~ ②P.166~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく	
	各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護 (肺炎・慢性閉塞性肺疾患)				

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の骨折の背景と特徴、アセスメントとその看護について説明できる	教科書①P.243-②P.144~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護（骨折・骨粗鬆症）		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	・高齢者が転倒した直後の観察ができる ・骨折した高齢者患者の看護が実践できる	教科書①P.243-②P.144~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	骨折した高齢者の体位変換・床上排泄時の看護		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	認知症高齢者をアセスメントとし、その看護について説明できる	教科書①P.72.-②P.242	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護（認知症）		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者におけるうつ病・せん妄のアセスメント、発症時の援助や予防対策について説明できる	教科書②P.123-②P.288-	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護（うつ病・せん妄）		
第10回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	認知症高齢者のもてる力に着目した看護を実践できる	教科書①P.296-②P.242	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	認知症高齢者のケア		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	心不全のある高齢者のアセスメントとその看護について説明できる	教科書①P.220-②P.186~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護（心不全・高血圧・不整脈）		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	内分泌・感覚器・感染症の疾患を持つ高齢者をアセスメントし、ADL向上に向けた援助が説明できる	教科書①P.221-②P.215~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康障害と看護（糖尿病・慢性腎臓病 CKD・視覚・感染症）		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の皮膚障害・電解質代謝・貧血・めまいの特徴とアセスメント、その看護について説明できる	教科書①P.222-②P.157~	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な疾患・症状を支える看護（褥瘡・スキンテア・浮腫・貧血・めまい・低体温・熱中症）		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	・高齢者の死のとりえ方考え方を述べることができる	教科書①P.174-②P.350-	加齢変化と疾患の関連を調べておく 授業の復習をしておく
		各コマにおける授業予定	終末期の看護 高齢者の死と医療・ケア 終末期看護の実践 看取りを終えた家族への看護		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	まとめ・終講試験		
		各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験		